

# 全医労保育所ニュース

## 私たちの院内保育所は全医労が作った「宝」 連携を強め運動をすすめよう

一人ひとりが知恵を出し合い、  
協力して保育所を改善していきましょう



実技研修で出た「エビ！」のかけ声で記念写真  
退職予定の先生方と講師の松家先生を囲んで

全医労は6月4、5日に浅草セントラルホテルで第45回保育所会議を開催しました。前日には保育所問題プロジェクトチームを中心に機構本部要請を実施。引き続き会議には、地方協・地区代表・傍聴含め76人が参加し、今後の運動の意思統一を行いました。

### 要請行動

会議前日には国立病院機構本部へ要請を行いました。

日本医労連の中野中央執行委員長を先頭に16人が参加。「医師・看護師確保対策の強化と院内保育所の充実に関する要請書」を提出し、国立病

院機構として責任を持って医師・看護師確保と制度活用を行い、院内保育所の充実に向け、すべての保育所職員の賃上げ、欠員補充、災害対策等子どもにとって安全・安心の保育環境となるよう改善を求めました。

### 保育所会議 in 浅草

翌日から東京・浅草セントラルホテルで保育所会議を開催。佐々木中央執行委員の司会進行で開会し、佐藤委員長の挨拶、中丸副委員長の基調報告を受けました。

続いて、岸岡さん(広島支部)が機構本部要請の報告を行い「初めて参加したが、機構本部では回答できないとの一点張り。私たちがもっと声を出していかないといけない」と発言がありました。

また、東京未来大学の西村先生から院内保育所の保育士の勤務環境に関する調査結果報告を受け、新たに避難訓練に関するアンケートの要請がありました。

### 全体討論から

全体討論では10人の方から活発な質問発言が続きました。

「関信保育所部会として栄養士・調理師の大幅賃上げを求めひとこと署名などのとりくみを提起したい」「富士病院廃止で保育所職員の雇用継続は不安でいっぱいだ」「高知市が第二子の保育料を無料としたため、高知病ぼぼてん保育園の園児が激減。これから園の良さを伝えていきたい」「相模原さがみたんぼぼ保育園では全土曜開園と22時15分までの延長保育が一方的に決定した」「宮崎東コロコロ保育所の老朽化した園舎の新築を求め地区として全面的に運動してい

# 国立病院の院内保育所は 血と汗と涙で作り上げてきた全医労の財産 粘り強くたたかっていたいころ

## 熊本・大分地震で

「病院、ピジョンとの間を取り持つ役割として支部を活用しよう」「沖縄地区では琉球支部から応援に入り沖縄病で組合加入があり空白解消。その後一緒に交流会も開催」「契約・パート・アルバイト、全職員の賃金格差は正、契約社員化を」「直営に向けた方針を具体的に示してほしい」「本部指示を待っているだけではなく、保育所組合員自らが動くことが必要だ」等々発言が続きました。

中でも、4月の熊本・大分地震を体験した熊本支部二の丸保育園の代表から「園は熊本の城内にあり、いつも遊んでいた。認可園は閉園していたが、地震後、二の丸保育園は一日も休まず開園している。実際地震が起きてみると、どこに避難したらいいのか、子どもたちをどう守ったらいいのかわからなかった。まだ余震は続き、昼間はまぎれるが、夜間は恐怖心とたたかっている。車中泊は家中は物が散乱し、恐怖心で家に帰れないから。今は、余震の中、散歩はできるのか、どこへ行けばいいのか、どう保育を進めていけばいいのか課題が山積みだ。

全国からのご支援に感謝します」と涙ながらも気丈な報告があり、5年前の東日本大震災を体験した宮城支部の代表からも当時の状況について発言がありました。

## 本部も議論に参加

本部も議論に参加し「国立病院の院内保育所は、血と汗と涙で作って来た保育所であり、全医労の財産だ。一方的な廃園、夜間保育の導入、開園時間の延長などは許さない。非公務員化で保育所の要求も支部・施設間の交渉事項となる。団体交渉には保育所組合員も参加し、支部・保護者・保育所と三位一体となつてたたかいていこう」「栄養士・調理師を含むすべての



「支部の活用を」糸村さん(琉球)

保育所職員の賃上げと同時に全国大会では方針提起を改めて行う。また、一括直営でないと団結は守れない。直営を展望し、粘り強く訴えていく」「震災については東日本大震災の教訓に学び、第二共済組合、機構本部、ピジョンに対し、追及を行いました」等々、答弁がありました。

## 実技研修で学び合う

その後、パネルシアター作家の松家(まつか)まさこ先生による実技研修「心ふれあうタオル遊びとパネルシアター」で大いに笑い、遊び、涙し、学び合いました。

## 交流会で元気に

会議1日目の最後は大交流会。テーブル対抗の出し物、クイズを楽しみました。各地の方言も飛び出し、保育所ならではの明るく楽しく元気になる交流会でした。

## 分散会で語り合い

翌日は3つの分散会にわかれ、各保育所の抱えている問題、機構本部・厚労省・ピジョンへの追及点、支部・保育所・保護者の連携等について議論を深めました。

## 第1分散会

第1分散会では、「榊原しらゆり保育園の廃園を延期させた」「パート社員の社会保険加入年収106万円問題について、雇用や勤務の仕方など情報がほしい」「課長が変わると備品購入など一から説明しないとけない。引継ぎがされていない」「再雇用者のフルタイム化が必要」「八病直営

保育園でも大幅賃上げを求めたい。人手も足りず、「雇用不安もある」「全職員の契約社員化が理想」「すべての職員が資格手当のアップを」「5時間パートはダブルワークを禁止されている。契約社員化を求めたい」「契約社員ではなく、正社員に」「時短がほしい」「給食の先生は園の大黒柱。大幅賃上げを」「東長野すくすく保育園は長野市立保育園の移転改築にともない閉園の話が出ています。存続に向けて支部と保育所との連携が重要。早速保育所では組合加入があつた」等々、参加者から各保育所の問題や疑問、要望、報告等が出されました。

本部からは、「出された問題はピジョン窓口で対応したい」「三者の連携をさらに強めよう」「支部、安全衛生委員会も活用していこう」とまとめの発言がありました。



「全員が発言」第2分散会

**第2分散会**

第2分散会では、まず園舎の建て替え問題で「同時に保育料値上げとなり、園児が減った。保育士が時間調整をして勤務している」「業者管理となり、病院に修理などをお願いしても管轄外と言われ困っている」「宮崎東コロコロ保育所の園舎は早急に建て替えが必要」「新築したが不備ばかりで使にくい。予算も無く保育所は口出しするなど言われた」「新築でお風呂も付いたため夜間保育の導入が懸念されたがそのまま。しかし給食室は狭くは配膳もできず、消

防の点検でも危険だと指摘された」「衛生面や避難経路も保育所の要望が通らなかつた」「以前は全室南向きだったが、日が当たらない部屋がある。園庭は針刺し事故があり、安全そうな土を入れたというが、ローラーが敷かれ草一本生えない園庭となつてしまった」等々出されました。

さらに「扶養の範囲で働きたいと言う人が多い。職員数はいるが保育が回らない」「次期園長問題でもめた。世代交代は深刻な問題」「契約社員が園長1人。子育て世代のため、辞めたいと言っている」「高松・善通寺の保育所は職員が足りず、保育所会議にも参加できない状態」「退職金制度の確立を」「再雇用者は誕生月までしか働けない。3月年度末まで継続を」「支部ではやはり看護師問題が大きく優先される。看護師の働

き方イコール保育所の問題だと意識を持つてほしい」等々、現状報告と要求事項等が出されました。

本部からは「被災時のマニュアル、避難訓練について再度追及する」「栄養士・調理師の賃上げについては要求署名をとりくみたい。ひとこと署名をプラスするかは検討する」「すべての職員が年度末まで継続できるような要求したい」「診療報酬改定による夜間保育の導入の動きには注意してほしい」「賃上げ、保育所の諸要求については支部の要求書を提出し、団交も行いながら三位一体の運動を進めたい。本部として支部も指導をしていく」と発言がありました。

卒園児が小学校に友達がいけないので泣いて登校できず悩んでいるとの発言には、「一匹狼困ったことが伝えられることが第一。これだ

**第3分散会**

第3分散会では、まず保育士の配置について、「契約3人、パート1人では保育を常時2人体制にするのが困難」との悩みに対し、「改めて本部とピジョン間で確認する」こととなりました。

また、園舎の問題では「長崎医療センター（大村くるみ保育所）は築50年。設備も酷い」「豊橋たんぼぼ保育園も建て替えを要求しているが金が無いの一点張り」「新築したが、コンクリートの上にクッション素材の床のため冬場は冷たい。病院との意見交換を密にしてほしい」「課長が変わって改築された。課長の考え方しだい」「使い勝手はわからない。訴え続けることが必

要」等々出されました。

支部との連携では、三者委員会が確立しているのは参加支部のうち、西別府つるみ保育園のみでしたが、本部からは「保育所の設備、運営については保護者と職員が一緒に施設に言うことが必要。三者の関係を大切にしながら変わっていく。保育所の課題で団体交渉をしよう」と発言がありました。また、支部の立場から「保育士との交流は少ないが、ケーキなど差し入れをしている。ニュースをポストに入れ、適宜話し合いをしている」との報告もありました。

賃金アップでは、「嬉しいが、園長とのギャップがくすぶっている」「パートで5・6年目の職員と新人が同じではモチベーションが上がらない」「新人には組合の成果として支部から話してもらい、組合加入につなげた」



「ムカデ駆除話でも沸いた」第3分散会

「組合のメリットについて説明の仕方を教えて欲しい」等々出されました。

本部は「賃金アップは、保育士が集まらないからアップしたという発想は改めなければならぬ。考え方として、栄養士・調理師の賃上げも保育士との差を埋めるのではなく、両方上げろということ。夜間保育の利用者にはそもそも夜勤免除申請の構えが必要。組合と保育所との関係は数の力で勝ち取った貴重な成果。様々な問題について、話し合っていく時に『用心棒』となるのが組合だ」とまとめ発言を行いました。



第3分代会  
富士・監物さん



第2分代会  
宮崎・宮本さん



第1分代会  
札幌病・菅さん

**全体会で**

分散会後は、全体会に会場を移し、各分散会の報告があり「三者がトライアングルとなつて頑張りたい。組合があるから交渉もできる、労働条件も守られている。組織拡大を進めたい」と決意が語られました。

また、榊原しらゆり保育園の参加者から「廃園問題では皆さんからのひとこと署名の大切さがわかった。院

長はすべて目を通し、廃園は見送りとなった。引き続き頑張りたい」と発言がありました。

**リレートークで**

その後、参加者全員によるリレートークが行われ、感想や決意が語られました。

「組合員が増え、36協定は保育所の締結が全医労一括締結となった」「毎年問題を抱えながら参加しているが、保育所は全医労の『宝』

『私たちの手に取り戻そう』との言葉に力をもらった」「保育所職員の処遇改善をアピールする銀座デモを実現したい」「再雇用の問題は後に続くので、良い方向に進めたい」「実技研修は感動した。タオルは遊べて涙もふける」「子どもに関われることに誇りを持ちたい」「看護師の状況は保育園に直結する。看護師のために作った保育所と同じ組合員の立場で良くしたい」「組合員の

意識が足りなかった」「組合のことは良く分からなかったが、来年は立候補して参加したい」「交流会は大変盛り上がり楽しかった」「脱退者に声をかけたい」

「45回の保育所会議の歴史は感慨深いものがあり、深夜までおよんだ団交を思い出した。全医労保育所の歴史を引き継いでいきたい」

「声を上げ続けること、活動すること、数の力を改めて感じた」「ハ病の直営保育所から見ても、ピジョン保育所に引けを感じていたが、私たち直営が残らなければピジョン保育所は直営に戻れない。園の存続は不安だが、全国に仲間がいると感じた」

「ハ病保育所も含め、横のつながりを持ちたい」「夜間保育導入などの情報は早めに組合へ。保育所の運営は保育所が決定権が持てるように全国に発信していきたい」「ピジョンブロッ

ク交渉で非組合員が別室に呼ばれた時はぞつとした。数の力は団結につながる」「交流も力になる。組合員ゼロ保育所にはたつきかけていきたい」等々、参加者一人ひとりが堂々と感想を述べ合いました。

涙あり、笑いあり、温かく励まし合う、これからの運動の決意に満ちた素晴らしいリレートークでした。

**本部まとめ**  
最後に香月書記長がまとめを行いました。

\*『用心棒』は一人ひとりが集まって全医労が用心棒に。みんなで知恵を出し合い、協力していこう。  
\*賃金格差、パート・アルバイトの格差は是正していこう。この秋は全支部から施設長へ要求書を提出し、保育所の改善を求めよう。  
\*保育所運営の問題は頭越しに決定させない。使用者責任を追及し、夜間保育等の導入にあ

たつては職員の健康と子どもの安全が確保できる体制、環境整備の立場で進める。

\*改善点は支部、保護者、保育所が連携しないと達成、実現できない。鋼（はがね）のトライアングルを作り立ち向かっていこう。保育所会議に参加できていない地区は各地方協会の連絡会で呼びかけて欲しい。

\*激動の情勢にある。保育も介護も自己責任、お金を出して保育サービスを買う時代だ。しかしその政策は破たんして来ている。安上がり

の保育では子どもの成長を保障できない。  
参議院選挙がある。より良い保育環境を作る立場からもぜひ投票を。平和を守る保育労働者として戦争法廃止、憲法9条を守っていこう。

以上を参加者の拍手で確認しました。最後に桶谷書記次長の閉会挨拶、佐藤委員長の「団結がんばろう」で散会となりました。

**総がかり行動に参加**

会議終了後、「戦争法廃止6・5総がかり行動」に参加者を代表して深津さん（相模原）と本部が参加。右翼の妨害にも負けず、コールを上げました。

※会議での物販協力ありがとうございました。熊本地震カンパに19,4150円送金します。  
※実技研修、交流会の様子は次号で紹介いたします。



戦争法廃止6・5総がかり行動に参加